

「経済学基礎理論」試験

(担当者名：蓮見 亮)

採点欄

2013年2月2日(土) 15:10~16:10 施行	学部	学科	年	組	満点 100	
・全3ページ ・試験時間60分 ・自筆ノート持込可(ただしA4用紙1枚(表裏)のみ)	学生証番号					
	氏名					

採点欄

問1. 【需要の価格弾力性】CDに対するあなたの需要表が以下のとおりだったとする。(配点各6)

価格 (ドル)	需要量 (所得=8,000ドル)	需要量 (所得=12,000ドル)
8	40	55
10	32	45
12	22	28
14	16	20
16	8	12

問1

満点
24

問2

満点
26

問3

満点
20

(1) CDの価格が8ドルから10ドルに上昇したときの需要の価格弾力性はいくらか、①所得が8,000ドルのとき、②同12,000ドルのときのそれぞれの場合について中間点の方法を用いて、計算しなさい。

① 1

② 0.9

問4

満点
30

(2) 所得が8,000ドルから12,000ドルに上昇したときの需要の所得弾力性はいくらか、CDの価格が①12ドルのとき、②同16ドルのときのそれぞれの場合について中間点の方法を用いて、計算しなさい。

① 0.6

② 1

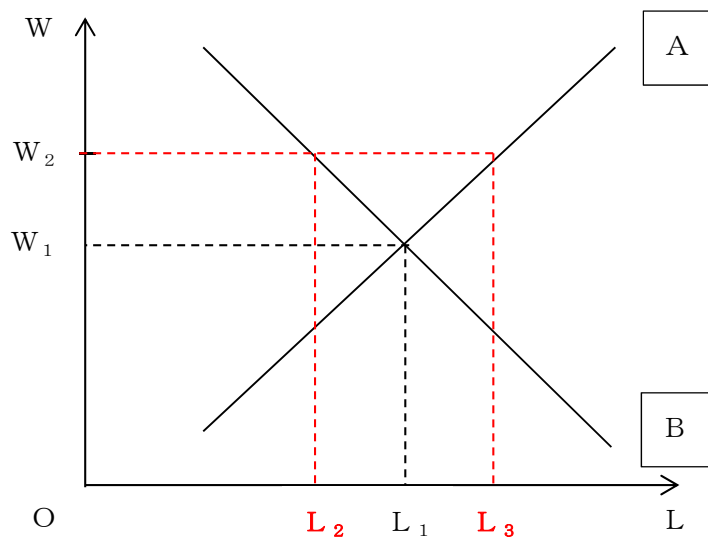
問2. 【労働市場】労働市場における最低賃金の影響について考えよう。まず最低賃金の規制がない場合を考える。労働市場において最低賃金の規制がない場合に、下記の図において賃金 W_1 、労働力 L_1 の点で労働市場が均衡していたものとする。

(1) 以下の文章において [] の中の正しい語に○をつけなさい。(配点各2)

図中において、曲線Aは [企業・家計] の労働 [需要・供給] 曲線を表し、

曲線Bは [企業・家計] の労働 [需要・供給] 曲線を表す。

(2) いま、政府が W_1 より高い水準に最低賃金 W_2 を定めたとする。この場合の労働市場において、雇用される労働者数および失業者数（余剰）について、下記の図を用いて説明しなさい（右下のボックス内に説明を記述すること）。（配点12）



雇用される労働者は、図中における L_2 、失業者数は $L_3 - L_2$ である。

(3) 政府が最低賃金をさらに引き上げようとした場合、この引き上げはどのような影響を与えるだろうか。下記のa～dのうち正しいもの1つに○印をつけなさい。（配点6）

- a. 最低賃金の引き上げによる雇用量と失業量の変化は、労働需要の弾力性だけに依存する。
- b. 最低賃金の引き上げによる雇用量と失業量の変化は、労働供給の弾力性だけに依存する。
- c. 最低賃金の引き上げによる雇用量と失業量の変化は、労働需要の弾力性と労働供給の弾力性の両方に依存する。
- d. 最低賃金の引き上げによる雇用量と失業量の変化は、労働需要の弾力性と労働供給のどちらにも依存しない。

問3. 【外部性】X川の川岸には、汚染を排出する2つの企業の工場がある。

企業	当初の汚染水準	汚染を1単位減少させる費用（ドル）
A社	70	20
B社	50	10

政府は汚染を80単位まで減らしたいと考えており、それぞれの企業に40単位の売買可能な汚染許可証を与えたとする。

(1) A社、B社は何単位許可証を購入もしくは売却するだろうか。下記の□の中に数字を記入し、[]の中の正しい語に○をつけなさい。（配点5）

A社は 単位許可証を [購入・売却] し、B社は 単位許可証を [購入・売却] する。

(2) その際、許可証はいくらで売買されるだろうか。下記の□の中に数字を記入しなさい。（配点5）

ドル 以上、 ドル 以下

(3) このケースにおいて汚染を減少させる総費用は何ドルか答えなさい。（配点5）

ドル

(4) もし許可証が売買できない場合には、汚染を減少させる総費用は許可証が売買できる場合に比べて何ドル増加するか答えなさい。（配点5）

ドル

問4. 【貿易からの利益】日本の労働者は1人当たり1年に10台の自動車を生産することができ、中国の労働者は1人当たり1年に5台の自動車を生産することができる。一方、日本の労働者は1人当たり1年に8トンの穀物を生産でき、中国の労働者は1人当たり1年に5トンの穀物を生産できるとする。日本の労働者は1億人、中国の労働者は10億人であるとしよう。

(1) この数値例をもとに、以下の表を埋めなさい。(配点各1)

<生産機会(1人当たり)>

	1年間の生産量		1単位の生産に必要な時間(年)	
	自動車(台)	穀物(トン)	自動車(1台)	穀物(1トン)
日本	10	8	0.1	0.125
中国	5	5	0.2	0.2

(2) 機会費用について、以下の表を埋めなさい。

<機会費用>

	自動車1台	穀物1トン
日本	穀物 0.8 トン	自動車 1.25 台
中国	穀物 1 トン	自動車 1 台

(3) 自動車の生産に関して絶対優位を持っている国はどちらか。正しいもの1つに○印をつけなさい。(配点各2)

[日本・中国・なし(両国とも同じ)]

(4) 自動車の生産に関して比較優位を持っている国はどちらか。正しいもの1つに○印をつけなさい。

[日本・中国・なし(両国とも同じ)]

(5) 穀物の生産に関して比較優位を持っている国はどちらか。正しいもの1つに○印をつけなさい。

[日本・中国・なし(両国とも同じ)]

(6) 貿易がない場合には、どちらの国も自動車の生産と穀物の生産に半々の労働者が従事しているものとしよう。それぞれの国における自動車と穀物の生産量はいくらか、答えなさい。(配点各1)

日本	自動車	5 億台	穀物	4 億トン
中国	自動車	2.5 億台	穀物	2.5 億トン

(7) 貿易がない場合を出発点として、貿易が両方の国を豊かにする例を1つ考えなさい。(配点8)

(回答例) それぞれが比較優位をもつ財、すなわち日本が自動車、中国が穀物の生産を増やし、生産の増加分の一部について自動車1台に対し穀物0.8トン超1トン未満のいずれかの交換条件で貿易すればよい。